

## 第3回東濃中部の医療提供体制検討会 議事概要

1. 日 時 平成 29 年 11 月 24 日（金） 10 時～12 時

2. 場 所 土岐市文化プラザ特別会議室

3. 出席者

土岐市：加藤副市長、水野総務部長、酒井市民部長、田中総合病院事務局長

瑞浪市：勝副市長、正村総務部長、宮本民生部長

JA 岐阜厚生連：藤井代表理事理事長、谷口常務理事、西脇東濃厚生病院事務局長

事務局（土岐市）：林総合政策課長、田中主幹

4. 議事内容

（1）議題

「東濃中部の医療提供体制の方向性の検討について」を議題に、別添資料をもとに事務局から説明後、構成員による検討を行った。

主な検討内容は以下のとおり。

<主な検討内容>

【第3回検討会での確認事項】

- 土岐市立総合病院と東濃厚生病院間における連携、統合等再編ネットワーク化の方向性について、市民の医療受診環境、病院経営の双方の視点から、医療提供、医師確保、救急医療確保などの観点により、別紙資料のとおり具体的に評価した。
- 医療提供体制見直しの観点において、救急医療確保及び医師確保ができなければ、2次医療機関として求められる医療そのものの提供ができなくなることから、方向性の評価をしていくなかでも、当該2点については、より重点的に評価すべきであると考えられる。その点で、1病院化が最も評価が高く、病床機能分担による2病院の連携が次に評価が高いことは妥当であると言える。
- 直面している救急医療の確保、医師の確保等の課題解決のため、1病院化を進めるにしても、病床機能分担による連携を進めるにしても、一定の時間を要する。その間も安定的な医療の提供がなされるよう、両病院で短期的なスパンで連携しながら対応していく必要がある。
- 今回整理した東濃中部における医療提供体制の方向性に関する検討会としての評価について、医師派遣先である大学医局や、地域の医師会などの第三者から、専門的な立場としての意見を聴取し、検討会としての結論に取り入れる。

【第4回検討会での検討事項】

- 今回整理した東濃中部における医療提供体制の方向性に関する検討会としての評価について、第4回検討会開催までに、事務局から医師派遣先である大学医局や、地域の医師会などの第三者に対して、専門的な立場としての意見の聞き取りを行い、その結果を踏まえて、検討会としての東濃中部の医療提供体制の方向性に関する結論を検討する。